

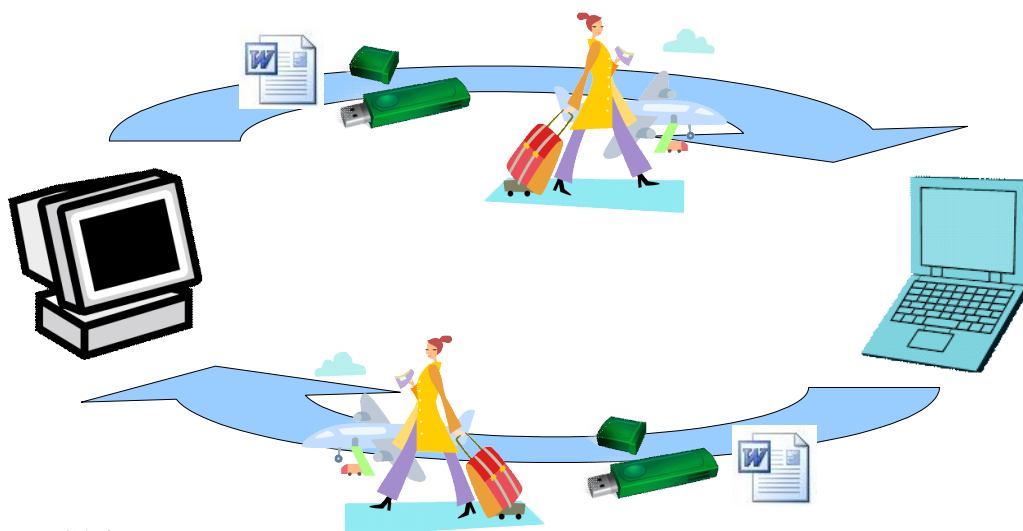
## Gmail を一時的なファイル置き場として使用

Gmail では、通常のメールにもあるようにファイルを添付することができます。このことを利用して、データを持ち歩かずにネットワークストレージの代用として活用する方法をご紹介します。

### データを持ち歩くか？持ち歩かないか？

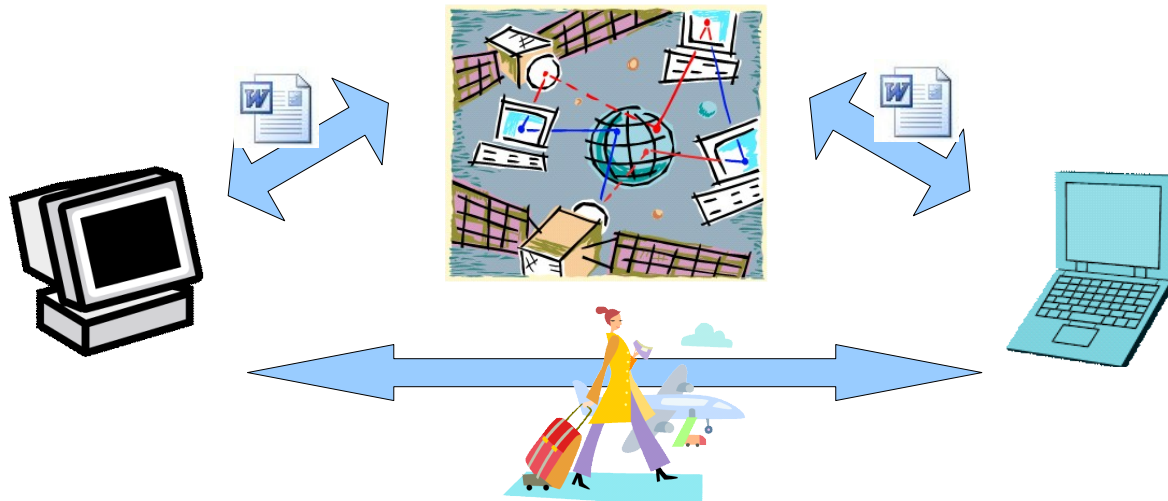
#### 持ち歩く場合

USB メモリや SD カードなどのフラッシュメモリを持っていると、データを簡単に持ち歩けます。ネットワーク接続できなくても、ハードディスクと同じ感覚でデータの移動ができます。しかし、記録媒体自身を持っておく必要があります。



#### 持ち歩かない場合

ネットワークサービスを利用して、ネットワーク先の置き場所にデータを格納し、必要なときにネットワークを通してダウンロードします。手ぶらで楽にデータの保存ができます。ネットワークがないと何もできなくなります。また、保存の容量(1ファイルや総容量)を気にする必要があります。



### Gmail でメールを作成

「メールを作成」ボタンを押す



### 宛先 (To:) を自分に

ご自身のアドレスを入力



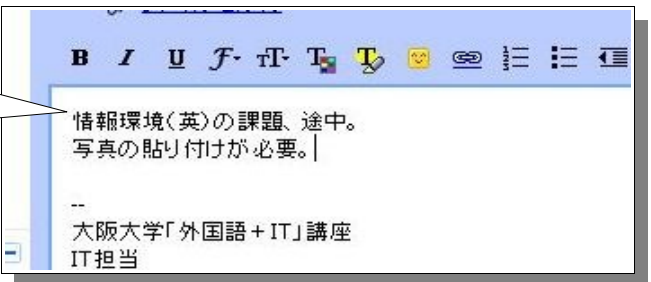
### メールの件名を入力

一目で何かわかるように



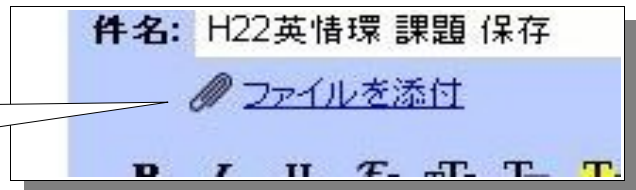
### メールの本文に添付ファイルの情報を入力

添付したファイルの内容を簡単に記述



## 対象のファイルをメールに添付

まず、このリンクをクリック



ファイルを選択、「開く」ボタンで添付できます



この方法であれば、ネットワークさえ繋がっていればどこでもデータを取り出せます。同様なネットワークストレージサービスは、いろいろと存在します。以下のような場面で活用するとべんりではないでしょうか。

- ファイルを移動したいが記録媒体をもっていない
- 記録媒体は持っているが、消失した場合のバックアップ

## 注意)

Gmail では、1通のメールあたり 25MByte が上限になっています。メールの文書、添付ファイル、メールに必要な見えない記述を含めた合計のサイズです。添付の際は、サイズに注意してください。

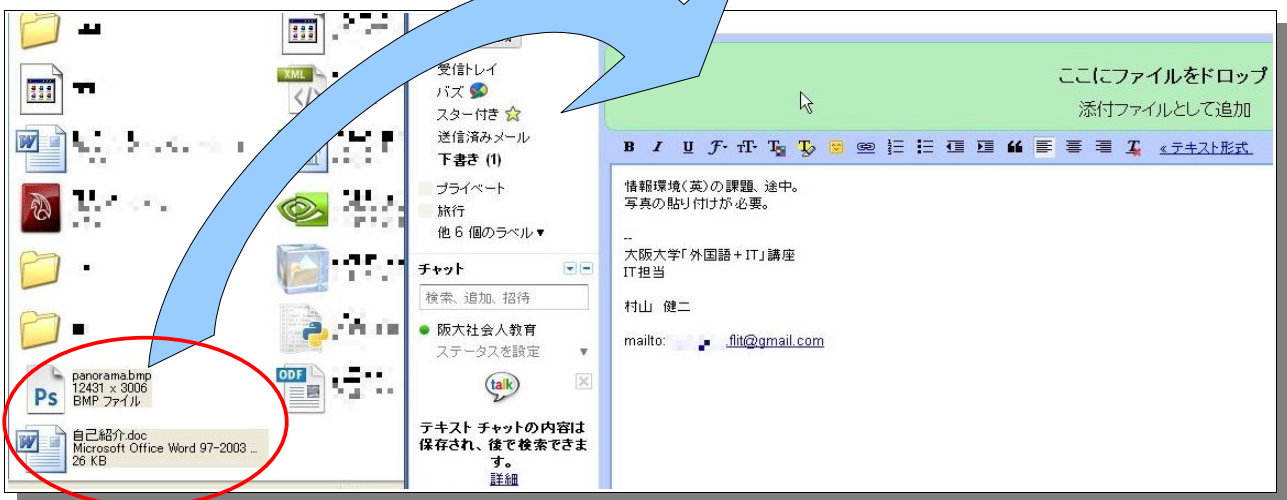
<http://mail.google.com/support/bin/answer.py?hl=jp&answer=8770>

## おまけ

添付したファイルは、チェックボックスのチェックを外せば添付から外されます。すぐには消えませんが、「すぐに保存」ボタンを押せば強制的に添付ファイルが外された状態で保存されます。



ファイルの添付は、ドラッグ&ドロップすることで可能です。しかも、複数のファイルを一度に追加できます。



メール送信をわざわざしなくても、一時的な保存であればメール作成時に「すぐに保存」ボタンを押しておけば、「下書き」にメールが存在することになります。

